

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度		期	科目名	履修学科コース	学年				
令和 6 年		前期	グラフィック実習	アパレル造形科 デザイナーコース、パタンナーコース	1				
科目概要									
Macパソコンを利用したグラフィックソフト（Illustrator・Photoshop）の基礎知識、基礎技術の習得									
習得項目									
1. Illustrator、Photoshopの基礎知識・基礎技術の習得 2. デザイン構築のノウハウや、画像形式などのデジタル基礎知識を学ぶ 3. ハンガーイラストなど、ポートフォリオ掲載用の作品制作に向けた技術の習得									
評価方法									
1. 課題評価（技術面、表現・思考面） 2. 授業姿勢（課題期限、出席率 などの評価項目）									
科目授業の実施計画				履修クラス					
				1KA					
ステップ	習得目標		学習内容・課題		授業予定日				
1			オリエンテーション		4/8	/	/	/	/
2	Mac室利用ルールの説明 授業内容とPC関係の説明		授業内容の説明、PC周辺機器に関する基礎知識（座学） Illustratorの画面説明と導入		4/15				
3	基本操作の習得 （Illustrator）		Illustratorの基本操作習得 （選択、複数選択、図形ツール、変形、応用テクニック）		4/22				
4	基本操作の習得・実習 （図形で絵を描く）		Illustratorの基本操作習得 （線ツール、図形の組み合わせ、アイコンの作成）		5/13				
5	〃		Illustratorの基本操作習得 （コピー・ペースト、整列、重ね順、パスファインダー）		5/20				
6	〃		Illustratorの基本操作習得 （ペンツール、クリッピングパス）		5/27				
7	〃		Illustratorの基本操作習得 （パターンの作成、パターンの応用テクニック）		6/3				
8	〃		Illustratorの基本操作習得 （ガイドの制作、レイヤーの理解、画像のリンクと埋め込み）		6/10				
9	作品制作 （ハンガーイラスト制作）		Illustrator応用テクニック （ダイレクト選択ツール、パスの理解）		6/17				
10	前期課題完成・提出 前期期末テスト		作業時間、提出 Illustrator・Photoshopの基本知識、テクニックの振り返り		6/24				
11			スボイベ		7/1				
12	プレゼン・講評		チラシのコンセプト、工夫した点や見どころなどを説明		7/8				
選択区分		授業形態（講義/実習割合）		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2 限=2. 5H）			
必修		実習100%				12/ 30h	/	/	/
講師区分	常勤	講師名	田中 小百合		関係実務経験 3年以上のキャリア ア	専門学校にて教員経験有 企業研修向けセミナーにて講師経験有			

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度		期	科目名	履修学科コース				学年
令和 6 年		後期 I	グラフィック実習	アパレル造形科 デザイナーコース、パタンナーコース				1
科目概要								
Macパソコンを利用したグラフィックソフト（Illustrator・Photoshop）の基礎知識、基礎技術の習得 前期の内容を活かし、初心者～中級者レベルのスキルアップ								
習得項目								
1. Illustrator、Photoshopの基礎知識・基礎技術の習得 2. デザイン構築のノウハウや、画像形式などのデジタル基礎知識を学ぶ 3. ハンガーイラストなど、ポートフォリオ掲載用の作品制作に向けた技術の習得								
評価方法								
1. 課題評価（技術面、表現・思考面） 2. 授業姿勢（課題期限、出席率 などの評価項目）								
科目授業の実施計画				履修クラス				
				1KA				
ステップ	習得目標		学習内容・課題	授業予定日				
1	デザインの構成方法		デザインの基本四原則、視線誘導について Jpeg、PNG、PDFの違い、使い分けについて	9/2	/	/	/	/
2	基本操作の習得 (Photoshop)		Photoshopの基本操作練習 (素材の開き方、レイヤーの説明、色調補正の基本の種類と説明)	9/9				
3	"		Photoshopの基本操作練習 (色調補正：レベル補正、トーンカーブの応用、カラーバランス)	9/30				
4	"		Photoshopの基本操作練習 (肌補正：修復ブラシツール、ハイパス、その他修正ツール)	10/7				
5	"		Photoshopの基本操作練習、ルックブック制作 (画像の切り抜き：クリッピングパス、自動選択ツール、マスク)	10/21				
6			海外研修（予定）＆秋休み	10/28				
7	基本操作・知識の習得 (Photoshop)		解像度について、カラーモードの違い、合成写真の作り方	11/11				
8	後期 I 中間テスト		後期 I の知識、テクニックの振り返り	11/18				
9	基本操作の習得 (Photoshop)		Photoshopの基本操作練習 (ゆがみツール、フィルター、後期 II 制作物の説明)	11/25				
選択区分		授業形態（講義/実習割合）		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2 限=2.5H）		
必修		実習100%				9/ 22.5h	/	/
講師区分	常勤	講師名	田中 小百合	関係実務経験 3年以上のキャリア	専門学校にて教員経験有 企業研修向けセミナーにて講師経験有			

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース				学年
令和 6 年	後期Ⅱ	グラフィック実習	アパレル造形科 デザイナーコース、パタンナーコース				1
科目概要							
Macパソコンを利用したグラフィックソフト（Illustrator・Photoshop）の基礎知識、基礎技術の習得 後期Ⅰの内容を活かし中級者～スキルアップ							
習得項目							
1. Illustrator、Photoshopの基礎知識・基礎技術の習得 2. デザイン構築のノウハウや、画像形式などのデジタル基礎知識を学ぶ 3. ハンガーイラストなど、ポートフォリオ掲載用の作品制作に向けた技術の習得							
評価方法							
1. 課題評価（技術面、表現・思考面） 2. 授業姿勢（課題期限、出席率 などの評価項目）							
科目授業の実施計画			履修クラス				
			1KA				
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日				
1	Illustrator・Photoshop応用	「夏休みの過ごし方」をテーマに、見開きページの作成 Photoshopで写真加工、Illustratorでレイアウト制作	12/2	/	/	/	/
2	〃	〃	12/9				
3	〃	オリジナルTシャツ、ブランドのモックアップ制作 Illustratorでデザイン制作、Photoshopでモックアップの合成	12/16				
4	〃	オリジナルTシャツ、ブランドの広報物制作 チラシ、ポスターなどの広報物を制作	12/23				
5	プレゼン・講評	制作物ついてプレゼン 工夫した点や、見どころなど	1/6				
6	後期Ⅱ期末テスト	後期Ⅱの知識、テクニックの振り返り	1/20				
7		FS期間	1/27				
8		FS期間	2/3				
9		FS期間	2/10				
10		FS期間	2/17				
選択区分		授業形態（講義/実習割合）	他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2 限=2.5H）		
必修		実習100%			10/ 25h	/	/
講師区分	常勤	講師名	田中 小百合		関係実務経験 3年以上のキャリア	専門学校にて教員経験有 企業研修向けセミナーにて講師経験有	

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度		期	科目名		履修学科コース			学年	
令和6年		前期	デッサン・スタイル画		アパレル造形科 デザイナーコース、パタンナーコース			1	
科目概要									
デッサンなどを通して表現力、想像力の育成から 実務に則したスタイル画を基本とした描画表現力を身につけます。									
習得項目									
1. ドローイングスタイル画テクニック 2. 各種画材、手法への理解と知識。									
評価方法									
1. 課題評価（技術面、表現・思考面） 2. 授業姿勢（課題期限、出席率 などの評価項目）									
科目授業の実施計画					履修クラス				
					1KA				
ステップ	習得目標		学習内容・課題		授業予定日				
			オリエンテーション		4/8	/	/	/	/
1	デッサン力、立体造形の理解 （描画表現力）		石膏デッサン（クロッキー①） 「デッサン用具準備」		4/15				
	"		石膏デッサン（クロッキー②） 「構図・描き始め」「陰影の作り方、大きな形と修正」		4/22				
	"		石膏デッサン（クロッキー③）（色鉛筆使用） 「モチーフ入れ替え・陰影の作り方、大きな形と修正」		5/13				
	"		人物クロッキー会（色鉛筆使用） 「ドローイングテクニック・人物全身構図」		5/20				
0	（作品デザイン・考察）		前期ショー基礎課程作品デザイン ワンピースのデザイン表現		5/27				
2	基礎描画力 （構図・バランス・描画力）		スタイル画 「ドローイング・人物ヌード全身構図 原型8-9頭身」		6/3				
	基礎描画力 （形の動き・描画力）		スタイル画 「着装フリードドローイング」		6/10				
	基礎描画力 （作画力・表現力）		スタイル画 「着彩フリードドローイング」（色鉛筆）		6/17				
	"		スタイル画 「着彩フリードドローイング」（マーカー着彩）		6/24				
	"		スタイル画 「着彩フリードドローイング」（iPad）		7/1				
	習得技術応用		スタイル画まとめ作品制作（～夏期宿題）		7/8				
選択区分		授業形態（講義/実習割合）		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2限=2.5H）			
必修		実習100%				12/ 30H	/	/	/
講師区分	常勤	講師名	石川 和男		関係実務経験 3年以上のキャリア ア	国内外アパレルブランドデザイナー			

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年			
令和 6 年	前期	トレンド分析・商品企画	アパレル造形科 デザイナーコース、パタンナーコース	1			
科目概要							
1. アパレル製品名称と製品構造の知識を学ぶ 2. マーケット、ブランドの分析方法、商品企画能力を学ぶ							
習得項目							
1. 製品のアイテム名、ディテール名などの知識習得 2. 製品構造を理解し、図に表現できるテクニックを習得							
評価方法							
1. 課題評価（技術面、思考能力） 2. 授業姿勢（課題提出期限、出席率）							
科目授業の実施計画			履修クラス				
			1KA				
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日				
1		授業内容説明・オリエンテーション 自己紹介/目指す職業のヒアリング	4/9	/	/	/	/
	スカート基礎知識	スカートのデザインバリエーション プリーツディテール名称学習	4/16				
	パンツ基礎知識	前週の復習、小テスト パンツのシルエット、主なディテール名称学習	4/23				
	シャツ基礎知識	前週の復習、小テスト シャツのデザインバリエーション、主なディテール名称学習	4/30				
	ブラウス基礎知識	前週の復習、小テスト ブラウスのデザインバリエーション、主なディテール名称学習	5/7				
	衿・袖の基礎知識	前週の復習、小テスト シャツ&ブラウスカラーとスリーブバリエーション学習	5/14				
	アウター基礎知識	前週の復習、小テスト ジャケット、ブレザーバリエーション学習	5/21				
2	製品構造知識と表現力	ジャンパー、コートのバリエーション 製品図（ハンガーイラスト）概要	5/28				
	〃	ワンピースのバリエーション 製品図（ハンガーイラスト）概要	6/4				
	〃	製品図（ハンガーイラスト）製品構造表現を学習	6/11				
	〃	〃	6/18				
	〃	〃	6/25				
		期末テスト	7/2				
3	トレンドの流れを理解	2023～2024トレンド振り返り トレンド情報と実際のマーケットとの違い	7/9				
	商品企画基礎知識	商品企画から商品化までの流れを学習	7/16				
選択区分		授業形態（講義/実習割合）	他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2 限=2.5H）		
必須		講義40%/実習60%			15D/ 37.5H	/	/
講師 区分	非常勤	講師名	吉岡		関係実務経験 3年以上のキャリア ア	国内アパレルブランドデザイナー職を 3年以上	

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース				学年
令和 6 年	後期 I	トレンド分析・商品企画	アパレル造形科 デザイナーコース、パタンナーコース				1
科目概要							
1. アパレル製品名称と製品構造の知識を学ぶ 2. マーケット、ブランドの分析方法、商品企画能力を学ぶ							
習得項目							
1. 製品のアイテム名、ディテール名などの知識習得 2. 製品構造を理解し、図に表現できるテクニックを習得							
評価方法							
1. 課題評価（技術面、思考能力） 2. 授業姿勢（課題提出期限、出席率）							
科目授業の実施計画			履修クラス				
			1KA				
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日				
4	コンセプト立案方法	商品企画について ブランドコンセプトの考え方 シーズン別コンセプト立案方法	9/3	/	/	/	/
	商品構成知識	商品企画について 商品構成の考え方 主力商品、見せ筋商品の考え方	9/10				
	リサーチの必要性と方法	商品企画/マーケットリサーチについて リサーチの目的 目的別リサーチ方法	9/17				
	マーケットの現状理解	マーケットリサーチ 気温、体感温度と店頭商品の違い	9/24				
	情報収集力	リサーチレポート 目的別にリサーチ結果をまとめる	10/1				
5	商品企画力	リサーチ結果をもとに企画に落とし込む	10/8				
	カラー計画の必要性	年間カラー計画 カラー計画の必要性	10/15				
	カラー計画方法	年間カラー計画を立てる シーズン、気温、マーケットムードを意識	10/22				
		海外研修	10/29				
6	キースタイリング計画必要性	年間キースタイリング計画を立てる シーズン、気温、マーケットムードを意識	11/5				
	キースタイリング計画方法	”	11/12				
	キースタイリング計画力	”	11/19				
	プレゼン能力	課題プレゼン発表	11/26				
選択区分		授業形態（講義/実習割合）	他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2 限=2. 5H）		
必須		講義40%/実習60%			13D/ 32. 5H	/	/
講師区分	非常勤	講師名	吉岡		関係実務経験 3年以上のキャリア ア	国内アパレルブランドデザイナー職 を3年以上	

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年		
令和 6 年	前期	色彩学	アパレル造形科 デザイナーコース、パタンナーコース	1		
科目概要						
AFT色彩検定3級公式テキストを使用し、文部科学省後援AFT色彩検定3級の取得を目指すことを主目的とし、実務にむけたイメージに合わせたカラーコーディネート、パーソナルカラー(人それぞれに似合う色)概論を学ぶ。 色彩検定日：6月23日（受験申込者のみ）						
習得項目						
文部科学省後援AFT色彩検定3級の習得及び、習得した色彩知識を仕事の現場に活かす方法を修得する。さらに、表現したいファッションイメージに合わせて、ロジックに基づいてカラーコーディネートの提案が出来るようになる。 パーソナルカラーの概要を理解し、ファッションデザイン、ファッションスタイリング、販売やメイクアップ、ヘアカラーなどそれぞれの分野に役立つ知識を習得する(色彩応用編)。						
評価方法						
1. 課題評価 2. 授業姿勢（課題期限、出席率 などの評価項目）						
科目授業の実施計画			履修クラス			
			1KA			
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日			
1	色彩検定の概要や取得目的を知る PCCSで色の成り立ちの基本を理解する	・授業オリエンテーション ・色の成り立ちと色の表示（PCCS）	4/9			
	PCCS表色系においての色の三属性、トーン、清濁などの理解	・色の表示（PCCS）	4/16			
	PCCS表色系を理解し配色に活かしていく 色の心理的効果の習得	・色の表示（PCCS）、トーンマップの作成 ・色彩心理（色の心理的効果）	4/23			
	色の視覚効果の習得	・色彩心理（色の視覚効果）	4/30			
	ファッションにおける色彩や流行色について理解 色相配色をファッションを通して習得	・ファッションと色彩、流行色 ・色彩調和①（PCCSを用いた色相配色）	5/7			
	色相配色とトーン配色をファッションを通して習得	・色彩調和②（PCCSを用いた色相配色とトーン配色）	5/14			
	アクセントカラーなど様々な配色技法とその効果を習得	・色彩調和③アクセントカラー、セパレーション、グラデーション等	5/21			
	混色の理解とともに、写真やSNSなど印刷物やモニター画面の混色を理解する	・光と色①（混色と混色の身近な応用例）	5/28			
	色が見えるしくみ、照明の色の見え方を理解する。	・光と色②（色が見えるしくみ、照明の色）	6/4			
	項目〔全7項目〕ごとの出題ポイントを理解する。	・インテリアと色彩 ・色名 ・検定直前対策①	6/11			
	”	・検定直前対策②	6/18			
2	カジュアルやモダンなど8種類の配色イメージをイメージスケールで理解する。	イメージに合わせたファッションカラーコーディネート①	6/25			
	”	イメージに合わせたファッションカラーコーディネート②	7/2			
	ファッションにおけるイメージを理解し、イメージに合わせてカラーージュ制作とカラーコーディネートが出来る。	イメージに合わせたファッションカラーコーディネート③	7/9			
3	パーソナルカラー理論の基礎知識を習得。 色覚の多様性に配慮した、誰もが使いやすい色使い。	・パーソナルカラー概論と仕事での取り入れ方 ・ユニバーサルカラーデザイン	7/16			
選択区分	授業形態（講義/実習割合）		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2限=2.5H）	
必修	講義100%				15D/ 37.5H	
講師区分	非常勤	講師名	堀川彩里	関係実務経験 3年以上のキャリア ア	文部科学省後援AFT色彩検定協会認定 色彩講師 3 年以上	

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年			
令和6年	前期	服飾技術実習	アパレル造形科 デザイナーコース、パタンナーコース	1			
科目概要							
平面で製図した型紙を用布の上で裁断し縫い合わせ、立体化して着用し、服となっていく工程の理解と様々な縫製技術の習得をする。							
習得項目							
1. 各アイテムを池田式製図方法にて学ぶ。 2. 手縫いとミシンの技術とアイテムの縫製方法を学ぶ。 3. 服飾資材の知識と扱い方を学ぶ。 4. 納期の期限を守る意識を身につける。							
評価方法							
・ 課題評価（縫製技術、デザイン、期限） ・ 試験 ・ 出席率							
科目授業の実施計画			履修クラス				
			1KA				
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日				
1	池田式製図方法	基礎原型「レディース原型」/オリエンテーション	4/10				
2	手縫いの技法	ピンクッション製作	4/11				
3	手縫いの技法 ミシンの扱い方	基礎縫い・ミシン講義	4/12				
4	採寸方法	採寸/基礎縫い	4/17				
5	手縫いの技法/生地購入方法	基礎縫い/日暮里生地屋案内	4/18				
7	池田式製図方法	基礎原型「第二原型」/基礎原型「メンズ原型」	4/19				
5	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	基礎縫い・トートバッグ製作	4/24				
5	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	基礎縫い・トートバッグ製作	4/25				
6	池田式製図方法 手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	基礎原型「セミタイトスカート」 トートバッグ製作	4/26				
7	池田式製図方法	ダーツの展開 「①Wダーツ ②肩ダーツ ③袖ぐりダーツ」	5/1				
6	池田式製図方法 手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	トートバッグ製作/セミタイトスカート製作	5/8				
8	池田式製図方法 手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ダーツの展開「④斜め脇ダーツ ⑤後ろ衿ぐりダーツ ⑥パネルラインセミ タイトスカート製作	5/9				
7	池田式製図方法	ダーツの展開 「⑦デザイン線利用 ⑧ヨーク1 ⑨ヨーク2」	5/10				
8	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	セミタイトスカート製作	5/15				
7	池田式製図方法 手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ダーツの展開 部分製図 「⑩ボートネック ショールカラー」セミタイトスカート制作	5/16				
選択区分		授業形態（講義/実習割合）	他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2限=2.5H）		
必修		講義30% 実習70%	なし				
講師区分	常勤	講師名	古賀 由紀夫		関係実務経験 3年以上のキャリア	デザイナー・パタンナー職3年以上	

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年			
令和 6 年	前期	服飾技術実習	アパレル造形科 デザイナーコース、パタンナーコース	1			
科目概要							
平面で製図した型紙を用布の上で裁断し縫い合わせ、立体化して着用し、服となっていく工程の理解と様々な縫製技術の習得をする。							
習得項目							
1. 各アイテムを池田式製図方法にて学ぶ。 2. 手縫いとミシンの技術とアイテムの縫製方法を学ぶ。 3. 服飾資材の知識と扱い方を学ぶ。 4. 納期の期限を守る意識を身につける。							
評価方法							
・ 課題評価（縫製技術、デザイン、期限） ・ 試験 ・ 出席率							
科目授業の実施計画			履修クラス				
			1KA				
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日				
8	池田式製図方法 手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	スカート各種 セミタイトSK製作	5/17				
8	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	セミタイトスカート製作	5/22				
8	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	セミタイトスカート製作	5/23				
9	池田式製図方法 手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ワンピース各種 シャツ製作	5/24				
9	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	シャツ製作	5/29				
9	池田式製図方法 手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ワンピース各種 シャツ製作	5/30				
9	池田式製図方法 手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ワンピース各種 シャツ製作	5/31				
9	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	シャツ製作	6/5				
9	池田式製図方法 手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	部分製図「袖山パフスリーブ」 シャツ製作	6/6				
9	池田式製図方法 手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	「フラットカラー」 シャツ製作	6/7				
9	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	シャツ製作	6/12				
10	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	シャツ製作 ワンピース 製作	6/13				
10	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	シャツ製作 ワンピース 製作	6/14				
10	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ワンピース製作	6/19				
10	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ワンピース製作	6/20				
選択区分	授業形態（講義/実習割合）		他授業・企業連携・企業講師				
必修	講義30% 実習70%		なし				
講師区分	常勤	講師名	古賀 由紀夫		関係実務経験 3年以上のキャリア	デザイナー・パタンナー職 3 年以上	

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年			
令和 6 年	前期	服飾技術実習	アパレル造形科 デザイナーコース、パタンナーコース	1			
科目概要							
平面で製図した型紙を用布の上で裁断し縫い合わせ、立体化して着用し、服となっていく工程の理解と様々な縫製技術の習得をする。							
習得項目							
1. 各アイテムを池田式製図方法にて学ぶ。 2. 手縫いとミシンの技術とアイテムの縫製方法を学ぶ。 3. 服飾資材の知識と扱い方を学ぶ。 4. 納期の期限を守る意識を身につける。							
評価方法							
・ 課題評価（縫製技術、デザイン、期限） ・ 試験 ・ 出席率							
科目授業の実施計画			履修クラス				
			1KA				
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日				
10	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ワンピース製作	6/21				
10	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ワンピース製作	6/26				
10	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ワンピース製作	6/27				
10	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ワンピース製作	6/28				
10	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ワンピース製作	7/3				
10	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ワンピース製作	7/4				
10	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ワンピース製作	7/5				
10	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ワンピース製作/前期修了ショー1年リハーサル	7/10				
10	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ワンピース製作	7/11				
10	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ワンピース製作/前期修了ショー	7/12				
10	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ワンピース製作/前期修了ショー1年リハーサル	7/17				
10	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法		7/18				
10	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	前期修了ショー	7/19				
選択区分	授業形態（講義/実習割合）		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2 限=2.5H）		
必修	講義30% 実習70%		なし		57/142.5		
講師区分	常勤	講師名	古賀 由紀夫	関係実務経験 3年以上のキャリア	デザイナー・パタンナー職3年以上		

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年			
令和6年	後期Ⅰ	服飾技術実習	アパレル造形科 デザイナーコース、パタンナーコース	1			
科目概要							
平面で製図した型紙を用布の上で裁断し縫い合わせ、立体化して着用し、服となっていく工程の理解と様々な縫製技術の習得をする。							
習得項目							
1. 各アイテムを池田式製図方法にて学ぶ。 2. 手縫いとミシンの技術とアイテムの縫製方法を学ぶ。 3. 服飾資材の知識と扱い方を学ぶ。 4. 納期の期限を守る意識を身につける。							
評価方法							
・ 課題評価（縫製技術、デザイン、期限） ・ 試験 ・ 出席率							
科目授業の実施計画			履修クラス				
			1KA				
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日				
1	池田式製図方法	パンツ	9/4				
2	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	パンツ製作	9/5				
2	池田式製図方法 手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ブラウス各種「ヨークシャツ」 パンツ製作	9/6				
2	池田式製図方法	ブラウス各種 「ワイシャツ」	9/11				
2	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	パンツ製作	9/12				
2	池田式製図方法 手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ブラウス各種「フリル&ペプラムシャツ」 パンツ製作	9/13				
2	池田式製図方法	部分製図「ジャボ」 スカート各種「8枚はぎスカート」	9/18				
2	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	パンツ製作	9/19				
2	池田式製図方法 手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	スカート各種「ボックスブリーツスカート」 パンツ製作	9/20				
2	池田式製図方法	スカート各種 「キュロットスカート」	9/25				
2	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	パンツ製作	9/26				
2	池田式製図方法 手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ベスト パンツ製作	9/27				
2	池田式製図方法	ショールカラージャケット	10/2				
2	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	部分縫い製作 「ポケット」	10/3				
2	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	パンツ製作	10/4				
選択区分	授業形態（講義/実習割合）		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2限=2.5H）		
必修	講義30% 実習70%		なし				
講師区分	常勤	講師名	古賀 由紀夫		関係実務経験 3年以上のキャリア	デザイナー・パタンナー職3年以上	

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年			
令和 6 年	後期 I	服飾技術実習	アパレル造形科 デザイナーコース、パタンナーコース	1			
科目概要							
平面で製図した型紙を用布の上で裁断し縫い合わせ、立体化して着用し、服となっていく工程の理解と様々な縫製技術の習得をする。							
習得項目							
1. 各アイテムを池田式製図方法にて学ぶ。 2. 手縫いとミシンの技術とアイテムの縫製方法を学ぶ。 3. 服飾資材の知識と扱い方を学ぶ。 4. 納期の期限を守る意識を身につける。							
評価方法							
・ 課題評価（縫製技術、デザイン、期限） ・ 試験 ・ 出席率							
科目授業の実施計画			履修クラス				
			1KA				
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日				
2	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	パンツ製作	10/9				
2	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	パンツ製作	10/10				
3	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ベスト製作	10/11				
3	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ベスト製作	10/16				
3	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ベスト製作	10/17				
3	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ベスト製作	10/18				
3	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ベスト製作	10/23				
3	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ベスト製作	10/24				
3	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ベスト製作	10/25				
		海外研修期間	10/30				
		海外研修期間	10/31				
		海外研修期間	11/1				
3	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ベスト製作	11/6				
3	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ベスト製作	11/7				
3	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ベスト製作	11/8				
選択区分	授業形態（講義/実習割合）		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2 限=2.5H）		
必修	講義30% 実習70%		なし				
講師区分	常勤	講師名	古賀 由紀夫		関係実務経験 3年以上のキャリア	デザイナー・パタンナー職 3 年以上	

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年			
令和 6 年	後期 I	服飾技術実習	アパレル造形科 デザイナーコース、パタンナーコース	1			
科目概要							
平面で製図した型紙を用布の上で裁断し縫い合わせ、立体化して着用し、服となっていく工程の理解と様々な縫製技術の習得をする。							
習得項目							
1. 各アイテムを池田式製図方法にて学ぶ。 2. 手縫いとミシンの技術とアイテムの縫製方法を学ぶ。 3. 服飾資材の知識と扱い方を学ぶ。 4. 納期の期限を守る意識を身につける。							
評価方法							
・ 課題評価（縫製技術、デザイン、期限） ・ 試験 ・ 出席率							
科目授業の実施計画			履修クラス				
			1KA				
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日				
3	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ベスト製作	11/13				
3	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ベスト製作	11/14				
3	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ベスト製作	11/15				
4	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	修了製作	11/20				
4	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	修了製作	11/21				
4	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	修了製作	11/22				
4	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	修了製作	11/27				
4	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	修了製作	11/28				
4	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	修了製作	11/29				
選択区分	授業形態（講義/実習割合）		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2 限=2.5H）		
必修	講義30% 実習70%		なし		52/130		
講師区分	常勤	講師名	古賀 由紀夫		関係実務経験 3年以上のキャリア	デザイナー・パタンナー職 3 年以上	

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年			
令和 6 年	後期Ⅱ	服飾技術実習	アパレル造形科 デザイナーコース、パタンナーコース	1			
科目概要							
平面で製図した型紙を用布の上で裁断し縫い合わせ、立体化して着用し、服となっていく工程の理解と様々な縫製技術の習得をする。							
習得項目							
1. 各アイテムを池田式製図方法にて学ぶ。 2. 手縫いとミシンの技術とアイテムの縫製方法を学ぶ。 3. 服飾資材の知識と扱い方を学ぶ。 4. 納期の期限を守る意識を身につける。							
評価方法							
・ 課題評価（縫製技術、デザイン、期限） ・ 試験 ・ 出席率							
科目授業の実施計画			履修クラス				
			1KA				
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日				
1	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	修了製作	12/4				
1	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	修了製作	12/5				
1	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	修了製作	12/6				
1	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	修了製作	12/11				
1	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	修了製作	12/12				
1	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	修了製作	12/13				
1	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	修了製作	12/18				
1	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	修了製作	12/19				
1	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	修了製作	12/20				
1	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	修了製作	12/25				
1	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	修了製作	1/8				
1	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	修了製作	1/9				
1	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	修了製作	1/10				
1	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	修了製作	1/15				
1	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	修了製作	1/16				
選択区分	授業形態（講義/実習割合）		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2 限=2.5H）		
必修	講義30% 実習70%		なし				
講師区分	常勤	講師名	古賀 由紀夫		関係実務経験 3年以上のキャリア	デザイナー・パタンナー職3年以上	

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年			
令和6年	後期Ⅱ	服飾技術実習	アパレル造形科 デザイナーコース、パタンナーコース	1			
科目概要							
平面で製図した型紙を用布の上で裁断し縫い合わせ、立体化して着用し、服となっていく工程の理解と様々な縫製技術の習得をする。							
習得項目							
1. 各アイテムを池田式製図方法にて学ぶ。 2. 手縫いとミシンの技術とアイテムの縫製方法を学ぶ。 3. 服飾資材の知識と扱い方を学ぶ。 4. 納期の期限を守る意識を身につける。							
評価方法							
・ 課題評価（縫製技術、デザイン、期限） ・ 試験 ・ 出席率							
科目授業の実施計画			履修クラス				
			1KA				
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日				
1	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	修了製作	1/17				
1	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	修了製作	1/22				
1	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	修了製作	1/23				
1	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	修了製作	1/24				
1	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	修了製作	1/29				
1	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	修了製作	1/30				
1	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	修了製作	1/31				
1	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	修了製作	2/5				
1	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	修了製作	2/6				
1	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	修了製作	2/7				
1	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	修了製作	2/12				
1	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	修了製作	2/13				
1	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	修了製作	2/14				
1	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	修了製作	2/19				
1	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	修了製作/作品振り	2/20				
選択区分		授業形態（講義/実習割合）	他授業・企業連携・企業講師				
必修		講義30% 実習70%	なし				
講師区分	常勤	講師名	古賀 由紀夫	関係実務経験 3年以上のキャリア	デザイナー・パタンナー職3年以上		

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年			
令和 6 年	後期Ⅱ	服飾技術実習	アパレル造形科 デザイナーコース、パタンナーコース	1			
科目概要							
平面で製図した型紙を用布の上で裁断し縫い合わせ、立体化して着用し、服となっていく工程の理解と様々な縫製技術の習得をする。							
習得項目							
1. 各アイテムを池田式製図方法にて学ぶ。 2. 手縫いとミシンの技術とアイテムの縫製方法を学ぶ。 3. 服飾資材の知識と扱い方を学ぶ。 4. 納期の期限を守る意識を身につける。							
評価方法							
・ 課題評価（縫製技術、デザイン、期限） ・ 試験 ・ 出席率							
科目授業の実施計画			履修クラス				
			1KA				
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日				
1	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	修了製作	2/21				
1	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	修了製作	2/26				
1	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	修了製作	2/27				
1	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	修了製作/基礎科・リメイクショー準備・本番	2/28				
選択区分	授業形態（講義/実習割合）		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2 限=2.5H）		
必修	講義30% 実習70%		なし		45/112.5		
講師区分	常勤	講師名	古賀 由紀夫		関係実務経験 3年以上のキャリア	デザイナー・パタンナー職3年以上	

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度		期	科目名	履修学科コース	学年
令和 6 年		前期	ドレーピング	アパレル造形科 デザイナーコース、パタンナーコース	1
科目概要					
寸法を元に行う平面製図ではなく、立体ボディーを使用し実際の布（シーティング）をあて、組み立て型紙を作り出す、立体裁断という技法。					
習得項目					
・ 布（シーティング）、ピンの扱いを学ぶ。 ・ 実際のボディーフォルムに合わせて、ダーツ、デザインラインを作り表現していく。 ・ ボディーのフォルムに合わせて、ダーツをとり理解を深める。					
評価方法					
1 課題評価 布目、ピンの打ち方、布の扱い、ラインの取り方等。 2 授業態度 出席率、集中度等。 * 総合評価100ポイント。成績評価が60点未満の場合は補習対象。					
科目授業の実施計画				履修クラス	
				1KA	
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日		
1	手縫い技法	オリエンテーション/ピンクッション	4/10		
2	ミシンの扱い	トートバック	4/17		
3	手縫い技術習得	基礎縫い	4/24		
4	基礎知識	基礎縫い/ドレーピングについて、地直し	5/1		
5	ダーツの取り方（サイドダーツ）	前原型 1	5/8		
5	ダーツの取り方（ショルダーダーツ）	後原型 1	5/15		
5	ピンの打ち方、縫い代の倒し方	原型組み立て	5/22		
6	ダーツの取り方（ショルダーダーツ）	前原型 2	5/29		
6	ダーツの取り方（ショルダーダーツ）	後原型 2	6/5		
6	ピンの打ち方、縫い代の倒し方	原型組み立て	6/12		
7	ダーツの取り方（ウエストダーツ）	前原型 3	6/19		
7	ダーツの取り方（ウエストダーツ） ピンの打ち方、縫い代倒し方	後原型 3/原型組み立て	6/26		
8	トレース	型紙作り	7/3		
8	トレース	型紙作り	7/10		
		前期終了ショーリハーサル	7/17		
選択区分	授業形態（講義/実習割合）		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2 限=2.5H）
必修	講義30% 実習70%		なし		15/37.5
講師区分	常勤	講師名	中島 由紀子	関係実務経験 3年以上のキャリア	パタンナー職3年以上

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度		期	科目名	履修学科コース					学年
令和 6 年		後期 I	ドレーピング	アパレル造形科 デザイナーコース、パタンナーコース					1
寸法を元に行う平面製図ではなく、立体ボディーを使用し実際の布（シーティング）をあて、組み立て型紙を作り出す、立体裁断という技法。									
習得項目									
・ 布（シーティング）、ピンの扱いを学ぶ。 ・ 実際のボディーフォルムに合わせて、ダーツ、デザインラインを作り表現していく。 ・ ボディーのフォルムに合わせて、ダーツをとり理解を深める。									
評価方法									
1 課題評価 布目、ピンの打ち方、布の扱い、ラインの取り方等。 2 授業態度 出席率、集中度等。 * 総合評価100ポイント。成績評価が60点未満の場合は補習対象。									
科目授業の実施計画				履修クラス					
				1KA					
ステップ	習得目標		学習内容・課題	授業予定日					
1	ボトムの基本・ウエストダーツ		前セミタイトスカート	9/4					
1	ボトムの基本・脇ラインの取り方		前セミタイトスカート	9/11					
1	ボトムの基本・ウエストダーツ		後セミタイトスカート	9/18					
1	ボトムの基本・脇ラインの取り方		後セミタイトスカート	9/25					
1	ボトムの基本・ベルトの付け方		組み立てセミタイトスカート	10/2					
2	前ヨークの取り方		前ヨーク・フレンチスリーブブラウス	10/9					
2	前身頃の作り方		前ヨーク・フレンチスリーブブラウス	10/16					
2	後ヨークの取り方		後ヨーク・フレンチスリーブブラウス	10/23					
			海外研修	10/30					
2	後身頃の作り方		後ヨーク・フレンチスリーブブラウス	11/6					
2	線入れ・縫い代付け		ヨーク・フレンチスリーブブラウス線入れ	11/13					
2	組み立て・ピンの打ち方・倒し方		ヨーク・フレンチスリーブブラウス組み立て	11/20					
2	トレース		ヨーク・フレンチスリーブブラウストレース	11/27					
選択区分		授業形態（講義/実習割合）		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2 限=2.5H）			
必修		講義30% 実習70%		なし		13/32.5			
講師区分	常勤	講師名	中島 由紀子	関係実務経験 3年以上のキャリア		パタンナー職 3 年以上			

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年			
令和 6 年	後期Ⅱ	ドレーピング	アパレル造形科 デザイナーコース、パタンナーコース	1			
科目概要							
寸法を元に行う平面製図ではなく、立体ボディーを使用し実際の布（シーティング）をあて、組み立て型紙を作り出す、立体裁断という技法。							
習得項目							
・ 布（シーティング）、ピンの扱いを学ぶ。 ・ 実際のボディーフォルムに合わせて、ダーツ、デザインラインを作り表現していく。 ・ ボディーのフォルムに合わせて、ダーツをとり理解を深める。							
評価方法							
1 課題評価 布目、ピンの打ち方、布の扱い、ラインの取り方等。 2 授業態度 出席率、集中度等。 * 総合評価100ポイント。成績評価が60点未満の場合は補習対象。							
科目授業の実施計画			履修クラス				
			1KA				
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日				
1	理論・製図	洋裁技術検定（初級）対策	12/4				
1	理論・製図	洋裁技術検定（初級）対策	12/11				
1	理論・製図	洋裁技術検定（初級）対策	12/18				
2	理論・製図	洋裁技術検定（初級）対策 模擬テスト	12/25				
		修了ショー制作	1/8				
		修了ショー制作	1/15				
		修了ショー制作	1/22				
		FS週間/作品撮り	1/29				
		FS週間/基礎科ショーリハーサル	2/5				
		FS週間	2/12				
		FS週間	2/19				
		FS振替休日	2/26				
選択区分	授業形態（講義/実習割合）		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2 限=2.5H）		
必修	講義30% 実習70%		なし		12/30		
講師区分	常勤	講師名	中島 由紀子		関係実務経験 3年以上のキャリア	パタンナー職 3 年以上	

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度		期	科目名	履修学科コース		学年
令和6年		前期	服飾史	アパレル造形科 デザイナーコース、パタンナーコース		1
科目概要						
古代から現代までの洋服の歴史を知る。素材、形、構造など。 教科書 世界服飾史 深井晃子著 美術出版社						
習得項目						
知識として素材、形、構造を考える。下着、中衣、上着など。 製品、商品のデザインなどを理解して説明などに役立てる。						
評価方法						
レポート、課題の提出。 平常点 以上の平均点						
科目授業の実施計画				履修クラス		
				1KA		
ステップ	習得目標		学習内容・課題		授業予定日	
1	衣服の起源		気候、環境、社会など		4/12	
2	衣服の形 素材		巻く、結ぶ、かぶる、毛、麻、綿、絹		4/19	
3	古代エジプト、メソポタミア		腰衣 ロインクロス		4/26	
4	古代ギリシャ、ローマ		巻き付ける ペブロス キトン		5/10	
5	ビザンチン ロマネスク		チュニック 上着		5/17	
6	ゴシック ルネサンス		上衣 下衣 男女		5/24	
7	バロック ロココ		フランス宮廷 コルセット		5/31	
8	フランス革命 ナポレオン		市民 軍服 古代回帰		6/7	
9	近代 市民革命		ドレス ジャケット パンツ シャツ		6/14	
10	世紀末		文化 様式 生活デザイン 既成服		5/21	
11	20世紀		近代 働く女性		6/28	
12	アールヌーボー、アールデコ		デザイン様式		7/5	
13	1930年代		新しい文化 アメリカの影響		7/12	
14	第二次世界大戦		現代の始まり		7/19	
選択区分		授業形態（講義/実習割合）		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2限=2.5H）
必修		オンライン講義100%		なし		14/35h
講師区分	常勤	講師名	古賀 由紀夫		関係実務経験 3年以上のキャリア	ファッション雑誌編集を3年以上

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年					
令和 6 年	後期 I	ベーシック・デザイン	アパレル造形科 デザイナーコース、パタンナーコース	1					
科目概要									
アイデア、インスピレーションの膨らませかた。 コンセプトやテーマの建て方と表現トレーニング									
習得項目									
1. 造形表現力、プレゼンテーション力 2. 造形バランス、表現素材、手法への知識と応用 3. デザインストーリーの構築力									
評価方法									
1. 課題評価（技術面、表現・思考面） 2. 授業姿勢（課題期限、出席率 などの評価項目）									
科目授業の実施計画			履修クラス						
			1KA						
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日						
0	意図創作	学年末修了作品考察 ※1 「全体テーマとは・カテゴリー（デザインジャンル）とは」	9/2	/	/	/	/		
	〃	修了作品デザインマップ① ※1 「自分の好きなデザイン系統についてコラージュ表現」	9/9						
	〃	修了作品デザインマップ② ※1 「自分の好きなデザイン系統についてコラージュ表現」	9/30						
	〃	修了作品デザインマップ② ※1 「デザイン作成」	10/7						
1	造形表現力 （材料を活かした表現とバランス）	造形デザイン演習 I ① 「ペーパーアート（ヘッドドレス）」	10/21						
	〃	造形デザイン演習 I ② 「ペーパーアート（ヘッドドレス）」	10/28						
	〃	造形デザイン演習 I ③ 「ペーパーアート（ヘッドドレス）」	11/11						
	〃	造形デザイン演習 I ④ 「ペーパーアート（ヘッドドレス）」	11/18						
	〃	造形デザイン演習 I ⑤ 「ペーパーアート（ヘッドドレス）」（作品撮影）	11/25						
選択区分	授業形態（講義/実習割合）		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2 限=2.5H）				
必修	実習100%		※1 連携授業：服飾技術実習		9D/22.5H	/	/	/	/
講師区分	常勤	講師名	石川 和男		関係実務経験 3年以上のキャリア	国内外アパレルブランドデザイナー			

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年			
令和6年	後期Ⅱ	ベーシック・デザイン	アパレル造形科 デザイナーコース、パタンナーコース	1			
科目概要							
アイデア、インスピレーションの膨らませかた。 コンセプトやテーマの建て方と表現トレーニング							
習得項目							
1. 造形表現力、プレゼンテーション力 2. 造形バランス、表現素材、手法への知識と応用 3. デザインストーリーの構築力							
評価方法							
1. 課題評価（技術面、表現・思考面） 2. 授業姿勢（課題期限、出席率 などの評価項目）							
科目授業の実施計画			履修クラス				
			1KA				
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日				
2	造形表現力 （インスピレーション&造形構築）	造形デザイン演習Ⅱ① 「1/2トルソーシーティングワーク」	12/2	/	/	/	/
	〃	造形デザイン演習Ⅱ② 「1/2トルソーシーティングワーク」	12/9				
	〃	造形デザイン演習Ⅱ③ 「1/2トルソーシーティングワーク」	12/16				
	〃	造形デザイン演習Ⅱ④ 「1/2トルソーシーティングワーク」	12/23				
	〃	造形デザイン演習Ⅱ⑤ 「1/2トルソーシーティングワーク」	1/6				
	〃	造形デザイン演習Ⅱ⑥ 「1/2トルソーシーティングワーク」（講評会）	1/20				
		ショー週間	1/27				
		ショー週間	2/3				
		ショー週間	2/10				
		ショー週間	2/17				
選択区分	授業形態（講義/実習割合）		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2限=2.5H）		
必修	実習100%				10/25H	/	/
講師区分	常勤	講師名	石川 和男		関係実務経験 3年以上のキャリア	国内外アパレルブランドデザイナー	

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度		期		科目名		履修学科コース					学年	
令和 6 年		後期 I		就職ガイダンス		アパレル造形科 デザイナーコース、パタンナーコース					1	
科目概要												
就職に向けて、仕事について理解を深め、就職活動の基本的な流れ・知識を身につける。 自己分析を行い、志望職種や志望企業を定める。												
習得項目												
就職活動の基本的な流れ、スケジュールの把握 自己分析とそこから紐づく書類作成の準備 選考内容の基礎知識												
評価方法												
・ 課題評価 ・ 授業姿勢（出席率、課題期限など）												
科目授業の実施計画							履修クラス					
							1KA					
ステップ	習得目標			学習内容・課題			授業予定日					
1				オリエンテーション （授業説明・就職活動の流れ・就職意識調査）			9/3					
2	アパレル業界の理解			アパレル業界の構造について			9/10					
3	職種の理解			アパレル職種について			9/17					
4	企業理解			企業研究			9/24					
5	自己分析			マインドマップの作成			10/1					
6	職業の流れの理解			内定者の就職体験談			10/8					
7	グループディスカッション			グループディスカッションについて			10/15					
8	求人情報検索方法			マイナビ登録・インターンについて			10/22					
9				海外研修			10/29					
10	zoomの使い方・オンラインマナー			オンラインツールの使い方			11/5					
11	自己分析・自己PR作成			キャリア支援センターによる自己発見講義			11/12					
12	志望動機作成			志望動機の書き方			11/19					
13	ビジネスマナー・面接準備			面接マナーについて			11/26					
選択区分		授業形態（講義/実習割合）			他授業・企業連携・企業講師			期別授業回数 / 時間数（2 限=2.5H）				
必修		講義50% 実習50%						130/32.5H	/	/	/	/
講師区分		常勤	講師名	福永 葵 花園和年			関係実務経験 3年以上のキャリア		OJT指導、ブラザー＆シスター制度指導 入社1-5年育成担当			

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度		期		科目名		履修学科コース					学年	
令和 6 年		後期Ⅱ		就職ガイダンス		アパレル造形科 デザイナーコース、パタンナーコース					1	
科目概要												
就職に向けて、仕事について理解を深め、就職活動の基本的な流れ・知識を身につける。 自己分析を行い、志望職種や志望企業を定める。												
習得項目												
就職活動の基本的な流れ、スケジュールの把握 自己分析とそこから紐づく書類作成の準備 選考内容の基礎知識												
評価方法												
・課題評価 ・授業姿勢（出席率、課題期限など）												
科目授業の実施計画							履修クラス					
							1KA					
ステップ	習得目標			学習内容・課題			授業予定日					
1	履歴書作成			履歴書の書き方			12/3					
2	企業理解			企業説明会 合同会社PVHジャパン			12/10					
3	ビジネスマナー、身だしなみ			花王による就活メイク講座			12/17					
4	企業研究			志望企業リストアップ			12/24					
5	選考書類の作成			書類作成準備			1/7					
6	面接でのマナー			模擬面接			1/21					
7				FS期間			1/28					
8				FS期間			2/4					
9				FS期間			2/18					
10				FS片付け日			2/25					
選択区分		授業形態（講義/実習割合）			他授業・企業連携・企業講師			期別授業回数 / 時間数（2 限=2.5H）				
必修		講義50% 実習50%			企業連携：花王株式会社他			100/25H	/	/	/	/
講師区分	常勤		講師名	福永葵 花園和年			関係実務経験 3年以上のキャリア		OJT指導、ブラザー＆シスター制度指導 入社1-5年育成担当			

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度		期		科目名		履修学科コース				学年		
令和 6 年		後期 I		ファッション素材学		アパレル造形科 デザイナーコース、パタンナーコース				1		
科目概要												
アパレル製品の素材としての繊維、糸、布地を理解し、製作、販売、コーディネートに役立てる。 繊維、生地の名前を知る。 教科書 わかりやすいアパレル素材の知識 一見輝彦著												
習得項目												
繊維の分類、種類、特性を知る。 生地、製品の取り扱い方を知る。												
評価方法												
レポート、提出物 平常点 以上の平均点												
科目授業の実施計画							履修クラス					
							1KA					
ステップ	習得目標			学習内容・課題			授業予定日					
1	アパレル素材とは 1			アパレルとは			9/6					
2	アパレル素材とは 2			繊維とファッション			9/13					
3	繊維の分類 名称 天然繊維			毛、麻、綿、絹			9/20					
4	繊維の分類 名称 化学繊維			再生繊維 半合成繊維 合成繊維			9/27					
5	糸について			綿 撚り 太さ 長さ			10/4					
6	織物の三原組織			平織、綾織 朱子織			10/11					
7	基本的な柄の名前			ストライプ チェック プリント			10/18					
8	秋冬の布			毛、加工 保温 防風			10/25					
9	素材の扱い			洗濯 プレス 保管			11/1					
10	編み物について			ニット製品			11/8					
11	裏地 芯地について			表地以外 付属品			11/15					
12	加工について			機能 見た目 手触り			11/22					
13	デニムとジーンズ			歴史と進化 日常着			11/29					
選択区分		授業形態（講義/実習割合）			他授業・企業連携・企業講師			期別授業回数 / 時間数（2 限=2.5H）				
必修		オンライン講義			なし			13/32.5h				
講師区分	常勤		講師名	古賀 由紀夫			関係実務経験 3年以上のキャリア		ファッション雑誌編集を3年以上			

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度		期	科目名		履修学科コース			学年	
令和 6 年		後期Ⅱ	ファッション素材学		アパレル造形科 デザイナーコース、パタンナーコース			1	
科目概要									
アパレル製品の素材としての線に、糸、布地を理解し製作、販売、コーディネートに役立てる。 繊維、生地の名前を知る。 教科書 わかりやすいアパレル素材の知識 一見輝彦著									
習得項目									
繊維の分類、種類、特性をしる。 生地、製品の取り扱い方をしる。									
評価方法									
レポート、提出物 平常点 以上の平均点									
科目授業の実施計画					履修クラス				
					1 KA				
ステップ	習得目標		学習内容・課題		授業予定日				
1	レースについて		織物、編み物以外		12/6				
2	皮と毛皮		織物、編み物以外		12/13				
3	不織布とフェルト		織物、編み物以外		12/20				
4	染色とプリント		無地と柄		1/10				
5	繊維の見分け方		性質		1/17				
6	新しい素材		化学とファッション		1/24				
7	繊維の見分け方		クリーニング		1/31				
8			ショー週間		2/7				
9			ショー週間		2/14				
10			ファッションショー		2/21				
11			ショー週間		2/28				
選択区分		授業形態（講義/実習割合）		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2 限=2.5H）			
必修		オンライン講義		なし		11/27.5h			
講師区分	常勤	講師名	古賀 由紀夫		関係実務経験 3年以上のキャリア	ファッション雑誌編集を3年以上			

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度		期	科目名		履修学科コース			学年	
令和 6 年		後期 II	SNSマーケティング		アパレル造形科 デザイナーコース、パタンナーコース			1	
科目概要									
SNSで会社やフリーランスでの仕事に必要な活用方法を学ぶ。 アカウントの開設から運用方法を学び、集客やブランディング方法、各SNSの特徴を理解する。 自分の作成したコンテンツをSNS上に披露する機会を作り、自身と相性の良いターゲット層や運用方法の理解を深める。									
習得項目									
・ Instagram・Tik Tok・その他SNSの使い方を習得 ・ 撮影や動画、画像編集から文書作成を行えるようにする ・ 実際に投稿してアカウントの分析方法も学び、PDCAサイクルを自分で回せるようにする。									
評価方法									
授業態度、SNSの実績、各コンテンツのクオリティやテストで採点する。									
科目授業の実施計画					履修クラス				
					1KA				
ステップ	習得目標		学習内容・課題		授業予定日				
1	アカウント開設と自己分析		オリエンテーション		12/3	/	/	/	/
2	アカウントの運用分析		セルフブランディング		12/10				
3	コンテンツが作れる		Instagramの基礎と応用		12/17				
4	動画編集ができる		動画編集のやり方		12/24				
5	企画を考えて提案できる		企画書作成		1/7				
6	撮影から投稿までできる		撮影と編集		1/21				
7	FS期間				1/28				
8	FS期間				2/4				
9	FS期間				2/18				
10	FS期間				2/25				
選択区分		授業形態（講義/実習割合）		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2 限=2.5H）			
必修		オンライン講義100%		（株）レイワンダッシュ		10/25h	/	/	/
講師区分	非常勤	講師名	廣瀬 龍也		関係実務経験 3年以上のキャリア	アパレルブランド等のSNSマーケターとして活躍 3 年以上			

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年
令和 6 年	前期	服飾造形実習	アパレル造形科デザイナーコース	2
科目概要				
オリジナルデザインジーンズの製図から作品制作まで オリジナルデザインシャツの製図から作品制作まで オリジナルサマージャケットの製図から作品制作まで				
習得項目				
ジーンズ・Y. シャツ・ジャケットの基本型をベースとして、オリジナルデザインの洋服を 3 アイテム制作をする。				
評価方法				
1. 出席率 2. 提出課題の成績 3. テストの成績				
科目授業の実施計画			履修クラス	
			2D	
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日	
1	自分のパンツの基本縫みを知る。	ジーンズ基本シルエット製図・ トワフル縫い・チェック	4/8	
	〃	〃	4/9	
	〃	〃	4/11	
2	素材の厚みに合わせてパターン修正	ジーンズの製図完成・デザインアレンジ	4/15	
	〃	〃	4/16	
	〃	〃	4/18	
3	〃	裁断・ロック・本縫い	4/22	
	〃	〃	4/23	
	〃	〃	4/25	
4	〃	ジーンズ完成・提出・Y. シャツ製図	5/13	
	〃	〃	5/14	
	〃	〃	5/16	
5	基本的なY. シャツの仕組みを知る。	Y. シャツ基本型製図完成・デザインアレンジ	5/20	
	〃	〃	5/21	
	〃	〃	5/23	
選択区分	授業形態（講義/実習割合）	他授業・企業連携・企業講師	期別授業回数 / 時間数（2 限=2. 5H）	
必須	実技 8 0 %・講義 2 0 %	なし		
講師区分	常勤講師	講師名	リビ 裕子	関係実務経験 3年以上のキャリア
アパレル企業でボタンナー 5 年、 服飾系専門学校講師歴 継続して 40 年				

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度		期	科目名	履修学科コース	学年
令和 6 年		前期	服飾造形実習	アパレル造形科デザイナーコース	2
科目概要					
オリジナルデザインジーンズの製図から作品制作まで オリジナルデザインシャツの製図から作品制作まで オリジナルサマージャケットの製図から作品制作まで					
習得項目					
ジーンズ・Y. シャツ・ジャケットの基本型をベースとして、オリジナルデザインの洋服を 3 アイテム制作をする。					
評価方法					
1. 出席率 2. 提出課題の成績 3. テストの成績					
科目授業の実施計画				履修クラス	
				2D	
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日		
6	基本的なY. シャツの仕組みを知る。	裁断・ロックと本縫い	5/27		
	〃	〃	5/28		
	〃	〃	5/30		
7	ディテール作成を覚える。	Y. シャツ完成・提出・各自ジャケット原型作成	6/3		
	〃	〃	6/4		
	〃	〃	6/6		
8	基本型ジャケットの着心地を覚える。	サマージャケット基本シルエット製図・デザインアレンジ	6/10		
	〃	〃	6/11		
	〃	〃	6/13		
9	〃	裁断・芯貼り・ロック・身頃本縫い	6/17		
	〃	〃	6/18		
	〃	〃	6/20		
10	テーラードカラーの縫製工程を知る。	袖・衿・ポケット作成	6/24		
	〃	〃	6/25		
	〃	〃	6/27		
選択区分	授業形態（講義/実習割合）	他授業・企業連携・企業講師	期別授業回数 / 時間数（2 限=2.5H）		
必須	実技 8 0 %・講義 2 0 %	なし			
講師区分	常勤講師	講師名	リビ 裕子	関係実務経験 3年以上のキャリア	アパレル企業でボタンナー 5 年、 服飾系専門学校講師歴 継続して 40 年

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年			
令和 6 年	前期	服飾造形実習	アパレル造形科デザイナーコース	2			
科目概要							
オリジナルデザインジーンズの製図から作品制作まで オリジナルデザインシャツの製図から作品制作まで オリジナルサマージャケットの製図から作品制作まで							
習得項目							
ジーンズ・Y. シャツ・ジャケットの基本型をベースとして、オリジナルデザインの洋服を 3 アイテム制作をする。							
評価方法							
1. 出席率 2. 提出課題の成績 3. テストの成績							
科目授業の実施計画			履修クラス				
			2D				
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日				
11	テーラードカラーの縫製工程を知る。	トータルチェック	7/1				
	〃	〃	7/2				
	〃	〃	7/4				
7	〃	本縫い完成・提出	7/8				
	〃	〃	7/9				
	〃	〃	7/11				
	〃	〃	7/16				
	〃	〃	7/18				
選択区分	授業形態（講義/実習割合）		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2 限=2. 5H）		
必須	実技 8 0 %・講義 2 0 %		なし		68/170H		
講師区分	常勤講師	講師名	リビ 裕子		関係実務経験 3年以上のキャリア	アパレル企業でボタンナー 5 年、 服飾系専門学校講師歴 継続して 40 年	

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度		期	科目名	履修学科コース	学年
令和 6 年		後期 I	服飾造形実習	アパレル造形科デザイナーコース	2
科目概要					
総裏仕立てのオリジナルデザインジャケットを製図から作品制作まで行う。					
習得項目					
ジャケットの基本型をベースとして、オリジナルデザインの総裏仕立てのジャケットを制作する。					
評価方法					
1. 出席率 2. 提出課題の成績 3. テストの成績					
科目授業の実施計画				履修クラス	
				2D	
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日		
1	ジャケットの着心地を感じる。	4 面構成のジャケットを製図	9/2		
	〃	〃	9/3		
	〃	〃	9/5		
2	〃	前後身頃	9/9		
	〃	〃	9/10		
	〃	〃	9/12		
3	〃	テーラードカラー・二枚袖	9/17		
	〃	〃	9/19		
	〃	〃	9/24		
4	〃	デザインアレンジ	9/26		
	〃	〃	9/30		
	〃	〃	10/1		
5	ジャケットの縫製工程を把握する	工業パターン	10/3		
	〃	〃	10/7		
	〃	〃	10/8		
選択区分	授業形態（講義/実習割合）		他授業・企業連携・企業講師		前期授業回数 / 時間数（2 限=2.5H）
必須	実技 8 0 % ・ 講義 2 0 %		なし		
講師区分	常勤講師	講師名	リビ 裕子	関係実務経験 3年以上のキャリア	アパレル企業でボタンナー 5 年、 服飾系専門学校講師歴 継続して 40 年

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年
令和 6 年	後期 I	服飾造形実習	アパレル造形科デザイナーコース	2
科目概要				
総裏仕立てのオリジナルデザインジャケットを製図から作品制作まで行う。				
習得項目				
ジャケットの基本型をベースとして、オリジナルデザインの総裏仕立てのジャケットを制作する。				
評価方法				
1. 出席率 2. 提出課題の成績 3. テストの成績				
科目授業の実施計画			履修クラス	
			2D	
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日	
6	ジャケットの縫製工程を把握する	裁断・芯・テープ貼り・本縫い	10/10	
	〃	〃	10/15	
	〃	〃	10/17	
7	〃	本縫い	10/21	
	〃	〃	10/22	
	〃	〃	10/24	
	〃	〃	10/28	
	〃	〃	10/29	
	〃	〃	10/31	
8	〃	完成して提出	11/5	
	〃	〃	11/7	
	〃	〃	11/11	
9	卒製の素材作りに入る	卒製のパターン打ち合わせ	11/12	
	〃	〃	11/14	
	〃	〃	11/18	
選択区分	授業形態（講義/実習割合）	他授業・企業連携・企業講師	前期授業回数 / 時間数（2 限=2.5H）	
必須	実技 8 0 % ・ 講義 2 0 %	なし		
講師区分	常勤講師	講師名	リビ 裕子	関係実務経験 3年以上のキャリア
アパレル企業でボタンナー 5 年、 服飾系専門学校講師歴 継続して 40 年				

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年
令和 6 年	後期 I	服飾造形実習	アパレル造形科デザイナーコース	2
科目概要				
総裏仕立てのオリジナルデザインジャケットを製図から作品制作まで行う。				
習得項目				
ジャケットの基本型をベースとして、オリジナルデザインの総裏仕立てのジャケットを制作する。				
評価方法				
1. 出席率 2. 提出課題の成績 3. テストの成績				
科目授業の実施計画			履修クラス	
			2D	
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日	
10	卒製の素材作りに入る	デザイン・素材の打ち合わせ	11/19	
	〃	〃	11/21	
	〃	〃	11/25	
11	〃	本縫い	11/26	
	〃	〃	11/28	
選択区分	授業形態（講義/実習割合）	他授業・企業連携・企業講師	前期授業回数 / 時間数（2 限=2.5H）	
必須	実技 8 0 % ・ 講義 2 0 %	なし	57/ 142. 5H	
講師区分	常勤講師	講師名	リビ 裕子	関係実務経験 3年以上のキャリア
アパレル企業でボタンナー５年、 服飾系専門学校講師歴 継続して40年				

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度		期	科目名	履修学科コース	学年
令和 6 年		後期Ⅱ	卒業制作実習	アパレル造形科デザイナーコース	2
科目概要					
卒業作品制作をする					
習得項目					
各アイテムの応用デザインの製図が出来る。 各アイテムの応用縫製力が身についてくる。 素材作りのアイディアに幅が出てくる。					
評価方法					
1.出席率 2.提出課題の成績 3.テストの成績					
科目授業の実施計画				履修クラス	
				2D	
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日		
1	卒業作品を制作する	卒業作品制作の全アイテムを製図	12/4		
	〃	〃	12/5		
	〃	〃	12/7		
2	〃	シーチング縫い、トワルチェック・補正	12/11		
	〃	〃	12/12		
	〃	〃	12/14		
3	〃	工業用パターンを作成する	12/18		
	〃	〃	12/19		
	〃	〃	12/21		
	〃	〃	12/25		
	〃	〃	12/26		
	〃	〃	1/11		
4	〃	本縫い	1/15		
	〃	〃	1/16		
	〃	〃	1/18		
選択区分		授業形態（講義/実習割合）	他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2限=2.5H）
必須		実技 8 0 % ・ 講義 2 0 %	なし		
講師区分	常勤講師	講師名	リビ 裕子	関係実務経験 3年以上のキャリア	アパレル企業でパタンナー 5 年、 服飾系専門学校講師歴 継続して 40 年

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年
令和 6 年	後期 II	卒業制作実習	アパレル造形科デザイナーコース	2
科目概要				
卒業作品制作をする				
習得項目				
各アイテムの応用デザインの製図が出来る。 各アイテムの応用縫製力が身についてくる。 素材作りのアイディアに幅が出てくる。				
評価方法				
1. 出席率 2. 提出課題の成績 3. テストの成績				
科目授業の実施計画			履修クラス	
			2D	
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日	
4	卒業作品を制作する	本縫い	1/22	
	〃	〃	1/23	
	〃	〃	1/25	
	〃	〃	1/29	
	〃	〃	1/30	
	〃	〃	2/1	
	〃	〃	2/5	
	〃	〃	2/6	
	〃	〃	2/8	
5	〃	小物作り	2/13	
	〃	〃	2/15	
	〃	〃	2/19	
6	〃	提出	2/20	
		FS	2/22	
		FS振替休日	2/26	
選択区分	授業形態（講義/実習割合）	他授業・企業連携・企業講師	期別授業回数 / 時間数（2 限=2.5H）	
必須	実技 8 0 % ・ 講義 2 0 %	なし		
講師区分	常勤講師	講師名	リビ 裕子	関係実務経験 3年以上のキャリア
アパレル企業でボタンナー 5 年、 服飾系専門学校講師歴 継続して 40 年				

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年			
令和6年	後期Ⅱ	卒業制作実習	アパレル造形科デザイナーコース	2			
科目概要							
卒業作品制作をする							
習得項目							
各アイテムの応用デザインの製図が出来る。 各アイテムの応用縫製力が身についてくる。 素材作りのアイデアに幅が出てくる。							
評価方法							
1.出席率 2.提出課題の成績 3.テストの成績							
科目授業の実施計画			履修クラス				
			2D				
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日				
		FS片付け日	2/27				
		FS振替休日	2/29				
			</				

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年
令和 6 年	後期 I	3Dモデリング	アパレル造形科デザイナーコース	2
科目概要				
基礎編、手引きで作成したパターンをスキャナーでトレースしてから、完成パターンにして、2Dでパーツ化までしていく。 3Dでシルエットを確認しながら、デザインアレンジまで持って行く。				
習得項目				
基礎編、自分で作成したシルエットをトワルを組まないで補正からパターン出しまで行う。				
評価方法				
1.出席率 2.提出課題の成績 3.テストの成績				
科目授業の実施計画			履修クラス	
			2D	
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日	
1	CADの基礎を復習	2Pが製図したパターンを使用、2DPが一人ずつ二人1組で行う	9/6	
2	スカート	スキャナーでパターンを取り込む・トレース練習	9/13	
3		トレースをしたパターンを確認する	9/20	
4		パーツ化してから、3Dでシルエット確認をしながら、補正する	9/27	
5		デザインアレンジをして行き、3タイプ登録をする。	10/4	
6	CADの基礎を復習	2Pが製図したパターンを使用、2DPが一人ずつ二人1組で行う	10/11	
7	ブラウス	スキャナーでパターンを取り込む・トレース練習	10/18	
8		トレースをしたパターンを確認する	10/25	
9		パーツ化してから、3Dでシルエット確認をしながら、補正する	11/1	
10		デザインアレンジをして行き、3タイプ登録をする。	11/8	
11	ワンピース	2Pが製図したパターンを使用、2DPが一人ずつ二人1組で行う	11/15	
12		スキャナーでパターンを取り込む・トレース練習	11/22	
13		パーツ化してから、3Dでシルエット確認をしながら、補正する	11/29	
選択区分	授業形態（講義/実習割合）	他授業・企業連携・企業講師	前期授業回数 / 時間数（2限=2.5H）	
必須	実技80％・講義20％	なし	13/32. 5H	
講師区分	常勤講師	講師名	リビ 裕子	関係実務経験 3年以上のキャリア
				アパレル企業でパタンナー5年、 服飾系専門学校講師歴 継続して40年

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年
令和 6 年	後期 II	3Dモデリング	アパレル造形科デザイナーコース	2
科目概要				
応用編、手引きで作成したパターンをスキャナーでトレースしてから、完成パターンにして、2Dでパーツ化までしていく。 3Dでシルエットを確認しながら、デザインアレンジまで持っていく。				
習得項目				
応用編、自分で作成したシルエットをトワルを組まないで補正からパターン出しまで行う。				
評価方法				
1.出席率 2.提出課題の成績 3.テストの成績				
科目授業の実施計画			履修クラス	
			2D	
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日	
1	基本ジャケットを3D上でアレンジして行く	4面構成のジャケットを製図してからパーツ化する	12/4	
2		3Dボディに着せつけてから、デザインアレンジをして行く	12/11	
3		パターンを修正しながら、その都度、シルエット登録を行う	12/18	
4		登録をしたシルエットの発表をする	12/25	
5	オリジナルブラウスのパターンを作成する	オリジナルアイテムのを製図してからパーツ化する	1/8	
6		3Dボディに着せつけてから、デザインアレンジをして行く	1/15	
7		パターンを修正しながら、その都度、シルエット登録を行う	1/22	
8		登録をしたシルエットの発表をする	1/29	
9	オリジナルコートのパターンを作成する	オリジナルアイテムのを製図してからパーツ化する	2/5	
10		3Dボディに着せつけてから、デザインアレンジをして行く	2/12	
11		パターンを修正しながら、その都度、シルエット登録を行う	2/19	
		ショー片付け	2/26	
選択区分		授業形態（講義/実習割合）	他授業・企業連携・企業講師	
必須		実技 80%・講義 20%	なし	
前期授業回数 / 時間数（2限=2.5H）		12/30H		
講師区分	常勤講師	講師名	リビ 裕子	関係実務経験 3年以上のキャリア
アパレル企業でパタンナー5年、 服飾系専門学校講師歴 継続して40年				

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度		期	科目名	履修学科コース	学年
令和 6 年		前期	卒業制作ファッションショー制作実習	アパレル造形科デザイナーコース	2
科目概要					
ショー企画、全体会議 ファッションショーのテーマ及びカテゴリー名を考える。衣装デザインを準備する。					
習得項目					
1, 話し合いの協調性・自己主張 2, デザインの発想力を養う。					
評価方法					
1, 課題評価（話し合いの協調性・自己主張 ・デザインの発想力での評価） 2, 授業姿勢（出席率・授業態度）					
科目授業の実施計画				履修クラス	
				2D	
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日		
1	話し合いの協調性口	ショー全体の説明、授業の流れ リーダー、サブリーダー決める	4/12		
2	発想力を高める	クラス内で 1 人 1 案出して 1 人ずつ発表 3 案に決める、資料作り	4/19		
2	発想力を高める	3 案のプレゼン資料作りパワポにて	4/26		
2	話し合いの協調性	3 案× 4 クラス＝ 1 2 案の説明、共有	5/10		
2	プレゼンテーション力を高める	プレゼンに向けての資料作り	5/17		
3	プレゼンテーション力を高める	プレゼン練習	5/24		
3	プレゼンテーション力を高める	全体テーマ決め理事長プレゼン本番、B 見学	5/31		
4	話し合いの協調性	カテゴリー大きく分ける（分け方）	6/7		
4	話し合いの協調性	グループ名話し合い、資料作り	6/14		
4	発想力を高める	資料作り	6/21		
5	プレゼンテーション力を高める	資料の修正、プレゼン練習	6/28		
5	プレゼンテーション力を高める	カテゴリー決め理事長プレゼン	7/5		
		自習予備日	7/12		
		前期修了ショー	7/19		
		* たたき台のデザイン画、夏休みの宿題 * 9 月～デザイン画スタート、1 0 月末にデザイン画上がり			
選択区分	授業形態（講義/実習割合）		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2 限=2. 5H）
必修	実技 8 0 % ・ 講義 2 0 %		なし		14D/ 35H
講師区分	常勤	講師名	石川和男、鷺 典子、福永 葵	関係実務経験 3 年以上のキャリア	国内アパレル デザイナー職を 3 年以上

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度		期	科目名	履修学科コース	学年
令和 6 年		後期 I	ビジネスPCワーク	アパレル造形科デザイナーコース	2
科目概要					
Windowsパソコンの操作方法と、ビジネスソフト（Word・Excel・Powerpoint）の使い方を習得する。 基本的なタイピングからWordを使用した文章処理技術を習得。 Excelを使用した表やグラフの作成、関数の使用法を習得。 Powerpointを使用したプレゼン資料の作成技術を習得。					
習得項目					
1.Windowsパソコンの基本操作やキーボードを使ったタイピング技術を身に付ける。 2. Wordによる基本的な文書作成、校正を行えるようにする。 3. Excelを使用した表やグラフの作成、関数を使用した表の作成方法を身に付ける。 4. PowerPointを使用したプレゼン資料の作成、構成を身に着ける。					
評価方法					
授業態度、課題提出、テストを行い採点する。 各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント「課題評価」100ポイント「技術試験」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。					
科目授業の実施計画				履修クラス	
				2D	
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日		
1	Word基礎レベルの理解	Windows機の基本操作 <Word>タイピング練習、簡単なビジネス文書の作成	9/6		
	〃	<Word> 表入り文書、画像入り文書の作成	9/13		
	〃	<Word> 図形やテキストボックスを使用したイラスト文書の作成	9/20		
		遠足	9/27		
2	Word実務レベルの理解	<Word> ビジネス文書の校正	10/4		
	〃	<Word> ヘッダー・フッターを使用したプレスリリース文書の作成	10/11		
3	Excel基礎レベルの理解	<Excel> 簡単な表の作成、四則計算	10/18		
		運動会	10/25		
		海外研修期間	11/1		
3	Excel基礎レベルの理解	<Excel> SUM、AVERAGE、MAX、MIN / グラフ作成①	11/8		
	〃	<Excel> グラフ作成②	11/15		
4	Excel実務レベルの理解	<Excel> 応用関数①(絶対参照、IF、RANK)	11/22		
	〃	<Excel> 応用関数②(COUNT、COUNTIF、他)	11/29		
選択区分	授業形態（講義/実習割合）		他授業・企業連携・企業講師	期別授業回数 / 時間数（2 限=2. 5H）	
必修	講義10% ・ 実習90%		なし	13回/ 32. 5h	
講師区分	常勤	講師名	鶴本 望	関係実務経験 3年以上のキャリア	IT関連技術指導3年以上

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年
令和 6 年	後期 II	ビジネスPCワーク	アパレル造形科デザイナーコース	2
科目概要				
Windowsパソコンの操作方法と、ビジネスソフト（Word・Excel・Powerpoint）の使い方を習得する。 基本的なタイピングからWordを使用した文章処理技術を習得。 Excelを使用した表やグラフの作成、関数の使用法を習得。 Powerpointを使用したプレゼン資料の作成技術を習得。				
習得項目				
1.Windowsパソコンの基本操作やキーボードを使ったタイピング技術を身に付ける。 2. Wordによる基本的な文書作成、校正を行えるようにする。 3. Excelを使用した表やグラフの作成、関数を使用した表の作成方法を身に付ける。 4. PowerPointを使用したプレゼン資料の作成、構成を身に着ける。				
評価方法				
授業態度、課題提出、テストを行い採点する。 各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント「課題評価」100ポイント「技術試験」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。				
科目授業の実施計画			履修クラス	
			2D	
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日	
4	Excel実務レベルの理解	<Excel> 応用関数③（VLOOKUP）	12/6	
5	PowerPointで目的の資料を作成	<PowerPoint> プレゼン資料作成①	12/13	
	〃	<PowerPoint> プレゼン資料作成②	12/20	
	〃	<PowerPoint> プレゼン資料発表、講評	1/10	
6	習得内容の確認	期末試験前総復習	1/17	
	〃	期末試験	1/24	
7		ファッションショー期間	1/31	
		〃	2/7	
		〃	2/14	
		〃	2/21	
		〃	2/28	
8				
選択区分	授業形態（講義/実習割合）	他授業・企業連携・企業講師	期別授業回数 / 時間数（2 限=2.5H）	
必修	講義10% ・ 実習90%	なし	11回/ 27.5 h	
講師区分	常勤	講師名	鶴本 望	関係実務経験 3年以上のキャリア
IT関連技術指導3年以上				

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年			
令和 6 年	前期	産学連携実習	アパレル造形科デザイナーコース	2			
科目概要							
企業の仕事についての理解を深めるため企業と連携して実践的な課題に取り組むことで、アパレル業界で必要となる知識や経験を得る。							
習得項目							
・ 課題に対しての理解力を養い、提案能力を習得 ・ 問題解決能力を養う ・ プレゼン能力の習得							
評価方法							
各項目に標準点を置き「授業態度・製作意欲・習熟度」100ポイントを担当講師採点。 「課題評価」100ポイントを連携企業採点として、その平均値を算出し評価を行う。							
科目授業の実施計画			履修クラス				
			2D				
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日				
1		オリエンテーション（授業説明、評価方法、スケジュール）	4/12				
2		会社、課題説明	4/19				
3	ブランド理解、トレンド理解	（株）ビギ様 市場調査	4/26				
4	〃	市場調査	5/10				
5	〃	市場調査	5/17				
6		スポーツイベント	5/24				
7	企業のニーズを理解する	デザイン作成	5/31				
8	〃	フィードバック	6/7				
9	〃	作品製作	6/14				
10	〃	作品製作	6/21				
11	プレゼン能力の向上	作品発表	6/28				
12	自己分析	レポート作成	7/5				
13	企業のニーズを理解する	評価フィードバック、表彰式	7/12				
14		前期ショー	7/19				
選択区分		授業形態（講義/実習割合）	他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2 限=2.5H）		
必修		実技60% 講義40%	企業連携：株式会社ビギ		14D/35H		
講師区分	常勤	講師名	福永葵 花園和年	関係実務経験 3年以上のキャリア	テキスタイル/プリント/MD 5年 海外アパレル製品 バイヤー20年		

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年
令和6年	後期Ⅰ	産学連携実習	アパレル造形科デザイナーコース	2
科目概要				
企業の仕事についての理解を深めるため企業と連携して実践的な課題に取り組むことで、アパレル業界で必要となる知識や経験を得る。				
習得項目				
・課題に対する理解力を養い、提案能力を習得 ・問題解決能力を養う ・プレゼン能力の習得				
評価方法				
各項目に標準点を置き「授業態度・製作意欲・習熟度」100ポイントを担当講師採点。「課題評価」100ポイントを連携企業採点として、その平均値を算出し評価を行う。				
科目授業の実施計画			履修クラス	
			2D	
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日	
1	企業理解	(株)アイリス様 企業研究	9/6	
2	〃	会社、課題説明	9/13	
3	ブランド理解、トレンド理解	ボタンの博物館見学	9/20	
4		バス遠足	9/27	
5	企業のニーズを理解する	市場調査	10/4	
	〃	〃	10/11	
	〃	〃	10/18	
6		運動会	10/25	
7		海外研修	11/1	
8	企業のニーズを知る	デザイン作成	11/8	
9	〃	フィードバック	11/15	
10	〃	作品製作	11/22	
11	〃	〃	11/29	
選択区分	授業形態（講義/実習割合）	他授業・企業連携・企業講師	期別授業回数 / 時間数（2限=2.5H）	
必修	実技60% 講義40%	企業連携：株式会社アイリス	11D/27.5H	
講師区分	常勤	講師名	福永葵 花園和年	関係実務経験 3年以上のキャリア
テキストスタイル/プリント/MD 5年 海外アパレル製品 バイヤー20年				

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年			
令和6年	後期Ⅱ	産学連携実習	アパレル造形科デザイナーコース	2			
科目概要							
就職に向けて、仕事について理解を深め、就職活動の基本的な流れ・知識を身につける。 自己分析を行い、志望職種や志望企業を定める。							
習得項目							
就職活動の基本的な流れ、スケジュールの把握 自己分析とそこから紐づく書類作成の準備 選考内容の基礎知識							
評価方法							
各項目に標準点を置き「授業態度・製作意欲・習熟度」100ポイントを担当講師採点。 「課題評価」100ポイントを連携企業採点として、その平均値を算出し評価を行う。							
科目授業の実施計画			履修クラス				
			2D				
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日				
1	企業のニーズを知る	(株)アイリス様 作品製作	12/6				
2	プレゼン能力の向上	作品発表	12/13				
3	企業のニーズを知る	評価フィードバック・表彰式	12/20				
4	ブランド起業について知る	NAVY. WO様 ブランド研究	1/10				
5	ブランド起業について知る	起業についての特別講義	1/17				
6	自己分析	レポート作成	1/24				
7		FS期間	1/31				
8		FS期間	2/7				
9		FS期間	2/14				
10		FS	2/21				
11		FS振替休日	2/28				
選択区分	授業形態（講義/実習割合）		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2限=2.5H）		
必修	実技60% 講義40%		企業連携：株式会社アイリス 他		11D/27.5H		
講師区分	常勤	講師名	福永葵 花園和年	関係実務経験 3年以上のキャリア	テキスタイル/プリント/MD 5年 海外アパレル製品 バイヤー20年		

年度	期	科目名	履修学科コース	学年					
令和6年	前期	就職キャリアデザイン	アパレル造形科 デザイナーコース	2					
科目概要									
就職活動やキャリア形成のために必要な知識・マナーを習得する。 就職活動を促進するような企業説明会の実施。									
習得項目									
エントリーシート・履歴書・ポートフォリオ等、就活で必要となる提出書類の作成。 面接時に必要となるマナーや質問事項への回答。 SPIや一般常識などの筆記試験対策。									
評価方法									
各項目に標準を置き『履修意欲・習熟度』100ポイント、『課題評価』100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。									
科目授業の実施計画			履修クラス						
			2D						
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日						
1	就職活動の流れの把握	オリエンテーション (就活の流れ、25年新卒採用状況) □	4/10						
2	企業理解 1	企業研究 (応募企業探し)	4/17						
3	書類作成方法の理解	書類作成 (履歴書、エントリーシート作成)	4/24						
4	グループディスカッションの理解	グループディスカッション対策	5/1						
5	面接マナーの習得	面接解説 (マナー指導、よくある出題と対策)	5/8						
6	企業理解 2	企業説明会 ①TOKYO BASE	5/15						
7	面接対策	模擬面接	5/22						
8	企業理解 3	企業説明会② アバハウス	5/29						
9	企業理解 4	企業説明会③ サンラリーグループ	6/5						
10	企業理解 5	企業説明会④ イング	6/12						
11	ポートフォリオ作成	ポートフォリオ作成	6/19						
12	就活練習 1	模擬面接 1	6/26						
13	就活練習 2	模擬面接 2	7/3						
14	就活練習 3	今後の就活について	7/10						
15		前期ショーリハーサル	7/17						
選択区分		授業形態 (講義/実習割合)	他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数 (2限=2.5H)				
必須		講義 100%	アバハウス・サンラリーグループ・イング		15/37.5	/	/	/	/
講師区分	常勤	講師名	リビ 裕子 花園和年		関係実務経験 3年以上のキャリア	OJT指導、ブラザー&シスター制度指導 入社1-5年育成担当			

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度		期	科目名	履修学科コース	学年
令和6年		前期	アパレルデザイン演習	アパレル造形科デザイナーコース	2
科目概要					
1. アパレルデザインの目的を理解し、コンセプトやアイデア発想能力を養う 2. 自己の考えについてのプレゼンテーション能力、アピール能力を養う 3. マーケットリサーチを通して商品と作品の違いを学ぶ					
習得項目					
1. コンセプトの考え方、製作作品表現方法を習得 2. アパレル素材に対する知見を得る					
評価方法					
1. 課題評価（技術面、思考能力、探求心） 2. 授業姿勢（課題提出期限、出席率）					
科目授業の実施計画				履修クラス	
				2D	
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日		
1	テーマ、コンセプト、イメージ理解力①	授業説明・ピギーズ校内コンペ作画（2T） ヘッドドレス、帽子デザイン画製作（2T） 授業説明・ジーンズ・ジャケット資料収集（2D）	4/10		
	〃	〃	4/17		
	〃	〃	4/24		
2	テーマ、コンセプト、イメージ理解力②	YKKファスニングアワード コンテスト用デザイン作画	5/1		
	〃	〃	5/8		
	〃	〃	5/15		
3	コンセプトへの柔軟な思考と理解 素材表現方法向上	デザイン演習 企業デザイナーとは	5/22		
	〃	デザイン演習 コンセプトに基づいたデザイン考案 テーマパーク制服/ウェディングドレス/アイドル衣装/舞台衣装など 素材に合わせた作画方法	5/29		
	〃	〃	6/5		
	〃	〃	6/12		
	〃	〃	6/19		
	〃	〃	6/26		
	プレゼン能力、アピール能力	プレゼンテーション	7/3		
	〃	講評会	7/10		
		前期修了ショーリハ / 前期修了ショー	7/17		
選択区分	授業形態（講義/実習割合）		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2限=2.5H）
必須	講義10%/実習90%		衣装製作実習 卒業制作ファッションショー制作実習		15D/ 37.5H
講師区分	非常勤	講師名	吉岡 文子	関係実務経験 3年以上のキャリア	国内アパレルブランドデザイナー職を3年以上

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度		期	科目名	履修学科コース	学年
令和 6 年		後期 I	アパレルデザイン演習	アパレル造形科デザイナーコース	2
科目概要					
1. アパレルデザインの目的を理解し、コンセプトやアイデア発想能力を養う 2. 自己の考えについてのプレゼンテーション能力、アピール能力を養う 3. マーケットリサーチを通して商品と作品の違いを学ぶ					
習得項目					
1. コンセプトの考え方、製作作品表現方法を習得 2. アパレル素材に対する知見を得る					
評価方法					
1. 課題評価（技術面、思考能力、探求心） 2. 授業姿勢（課題提出期限、出席率）					
科目授業の実施計画				履修クラス	
				2D	
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日		
4	アイディア収集能力 デザイン応用表現力 デザイン構築力	卒業修了ショーデザイン 卒業作品アイデアまとめ（2T） リゾートアイテムデザイン演習（2D）	9/5		
	”	”	9/12		
	”	”	9/19		
	”	”	9/26		
	デザイン表現力 デザイン構築力	デザイン実習 クロージングアート作成	10/3		
5	”	”	10/10		
	”	”	10/17		
	”	卒業修了ショーデザイン完成提出（2T）	10/24		
		海外研修予定	10/31		
	企画能力、プレゼン能力、アピール能力	ポートフォリオ完成度アップ	11/7		
	”	”	11/14		
6	プレゼン能力、アピール能力	ポートフォリオプレゼンテーション	11/21		
	”	講評会	11/28		
選択区分	授業形態（講義/実習割合）		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2限=2.5H）
必須	講義10%/実習90%		卒業制作ファッションショー制作実習		13D/ 32.5H
講師区分	非常勤	講師名	吉岡 文子	関係実務経験 3年以上のキャリア	国内アパレルブランドデザイナー職を3年以上

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年
令和6年	後期Ⅱ	アパレルデザイン演習	アパレル造形科デザイナーコース	2
科目概要				
1. アパレルデザインの目的を理解し、コンセプトやアイデア発想能力を養う 2. 自己の考えについてのプレゼンテーション能力、アピール能力を養う 3. マーケットリサーチを通して商品と作品の違いを学ぶ				
習得項目				
1. コンセプトの考え方、製作作品表現方法を習得 2. アパレル素材に対する知見を得る				
評価方法				
1. 課題評価（技術面、思考能力、探求心） 2. 授業姿勢（課題提出期限、出席率）				
科目授業の実施計画			履修クラス	
			2D	
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日	
7	デザイン応用の表現力	作品製作実習 卒業制作作品の完成度アップ考察（テキスタイル編）	12/4	
	〃	〃	12/11	
	〃	作品製作実習 卒業制作作品の完成度アップ考察（アクセサリ編）	12/18	
	〃	〃	12/25	
	〃	卒業制作実習 卒業制作各自作品製作	1/8	
	〃	〃	1/15	
	〃	〃	1/22	
		FS期間	1/29	
		〃	2/5	
		〃	2/12	
		〃	2/19	
		FS片づけ日	2/26	
選択区分	授業形態（講義/実習割合）	他授業・企業連携・企業講師	期別授業回数 / 時間数（2限=2.5H）	
必須	講義10%/実習90%	服飾技術実習	12D/ 30H	
講師区分	非常勤	講師名	吉岡 文子	関係実務経験 3年以上のキャリア
				国内アパレルブランドデザイナー職を3年以上

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度		期	科目名		履修学科コース		学年		
令和 6 年		前期	デザインワーク		アパレル造形科デザイナーコース		2		
科目概要									
ファッションクリエイションの表現を探究。 デザインテーマ的を理解し、合わせてコンセプトやデザインストーリーの構築を理解する。 自己の考えについてのプレゼンテーション力の強化。									
習得項目									
1. コンセプト、デザインストーリーの構築力（発想力。想像力） 2. 素材研究、素材表現 3. 自己の作品表現									
評価方法									
1. 課題評価（技術面、表現・思考面） 2. 授業姿勢（課題期限、出席率 などの評価項目）									
科目授業の実施計画					履修クラス				
					2D				
ステップ	習得目標		学習内容・課題		授業予定日				
1	素材表現力の習得 （技術の体験実習）		ビギーズデザイン 校内コンペ・テーマMTG&デザイン作画		4/11				
	"		ビギーズデザイン 校内コンペ・デザイン作画①		4/19				
	"		ビギーズデザイン 校内コンペ・デザイン作画②		4/25				
	"		シルクスクリーン実習 プリントデザイン原画デザイン（リサーチ）①		5/9				
	"		シルクスクリーン実習 プリントデザイン原画デザイン②		5/16				
	"		シルクスクリーン実習 版下作成①		5/23				
	"		シルクスクリーン実習 版下作成②		5/30				
	"		シルクスクリーン実習 製版①		6/6				
	"		シルクスクリーン実習 製版②		6/13				
	"		シルクスクリーン実習 捺染①		6/20				
	"		シルクスクリーン実習 捺染②		6/27				
	"		シルクスクリーン実習★ 捺染③		7/4				
	"		素材研究 実験加工・テキスタイルテクニック		7/11				
			前期修了ショー		7/19				
選択区分		授業形態（講義/実習割合）		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2 限=2. 5H）			
必修		実習100%				14D/35H			
講師区分	常勤	講師名	石川 和男		関係実務経験 3年以上のキャリア ア	国内外アパレルブランドデザイナー			

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年
令和6年	後期Ⅰ	デザインワーク	アパレル造形科デザイナーコース	2
科目概要				
ファッションクリエイションの表現を探究。 デザインテーマ的を理解し、合わせてコンセプトやデザインストーリーの構築を理解する。 自己の考えについてのプレゼンテーション力の強化。				
習得項目				
1. コンセプト、デザインストーリーの構築力（発想力。想像力） 2. 素材研究、素材表現 3. 卒業作品考察				
評価方法				
1. 課題評価（技術面、表現・思考面） 2. 授業姿勢（課題期限、出席率 などの評価項目）				
科目授業の実施計画			履修クラス	
			2D	
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日	
2	応用表現 （インスピレーション）	卒業修了ショー作品デザイン ※1 「自分の卒業作品アイデアについてまとめ」①	9/5	
	〃	卒業修了ショー作品デザイン ※1 「自分の卒業作品アイデアについてまとめ」②	9/12	
	〃	卒業修了ショー作品デザイン ※1 「自分の卒業作品アイデアについてまとめ」③	9/19	
	応用表現 （アイデア構築）	卒業修了ショーデザイン ※1 デザイン考察	9/26	
3	応用表現 （造形デザイン構築力）	造形デザイン演習 ※2 1/2トルソー卒業作品造形デザインサンプル製作①	10/3	
	〃	造形デザイン演習 ※2 1/2トルソー卒業作品造形デザインサンプル製作②	10/10	
	〃	造形デザイン演習 ※2 1/2トルソー卒業作品造形デザインサンプル製作③	10/17	
	〃	造形デザイン演習 ※2 1/2トルソー卒業作品造形デザインサンプル製作④	10/24	
	〃	海外研修	10/31	
	〃	造形デザイン演習 ※2 1/2トルソー卒業作品造形デザインサンプル製作⑥	11/7	
	応用表現 （応用表現力）	卒業修了ショーデザイン ※2 「自分の卒業作品の素材を「作る」「集める」①	11/14	
	〃	卒業修了ショーデザイン ※2 「自分の卒業作品の素材を「作る」「集める」②	11/21	
	〃	卒業修了ショーデザイン ※2 「自分の卒業作品の素材を「作る」「集める」③	11/28	
選択区分	授業形態（講義/実習割合）		他授業・企業連携・企業講師	
必修	実習100%		※1 連携授業：造形ショー企画 ※2 連携授業：復職造形実習	
講師区分	常勤	講師名	石川 和男	関係実務経験 3年以上のキャリア ア
国内外アパレルブランドデザイナー				